

「疾病予防と治療月間」によせて

地区職業研修チーム（V T T）委員長
福田 哲三



地区職業研修チーム（V T T）委員会では、毎年アジアの国々に医師や看護師、薬剤師などで組織された医療研修チームを派遣し、現地の医療サービスの向上を目指しています。例えばフィリピンでは腹腔鏡手術の技術指導を行ったり、マレーシア（ボルネオ島）やインドネシア、ネパールで院内感染の予防管理の研修を行いました。毎回、ロータリー財団のグローバル補助金を使つての事業です。また現地からも医療研修チームを招いて、地区内の医療施設で研修を行っています。毎回、医療専門家の皆さんの医療支援に対する並々ならぬ意欲に驚かされるとともにロータリアンとして大きな刺激となっています。毎回ガバナーにも現地を視察いただきながら地区事業として取り組み、より多くのロータリアンの参加を得て、持続可能な、そしてよりインパクトのある事業を目指しています。

ロータリー財団は古くから障害児の問題に取り組むなど疾病予防や治療を優先課題の一つとして位置づけてきました。例えば1930年に500ドルの寄付でスタートした国際障害児協会への支援は1978年には「3Hプログラム」に発展し、その後のポリオ撲滅活動へと引き継がれていきました。

ロータリー、あるいはロータリー財団のモットーである「世界で良いことをしよう！」の掛け声のもと、「疾病予防と治療」はよりよい社会実現のための中核的なテーマとして、これからも世界中のロータリアンたちが力を結集して挑み続けていくことでしょう。

